



医学教育推進センター News!

第 17 号 平成 27 年 7 月 31 日

発行：東京医科大学医学教育推進センター 東京都新宿区西新宿 6-7-1 東京医科大学教育研究棟（自主自学館）5F 病院内線：2040
URL：http://www.tokyo-med.ac.jp/suishin Email：iks-cen@tokyo-med.ac.jp

卒業時 OSCE とは？

全国の医学部では医学教育の国際基準を踏まえ、診療参加型臨床実習の拡充とともに、第 6 学年を対象とした臨床実習後の、客観的臨床能力試験（OSCE）が実施され始めています。

臨床実習を通して、医師として必要な臨床技能や態度を評価する総仕上げの試験として「卒業試験」とする大学も増えていきます。

卒業時 OSCE 実施報告

6 月 24 日、本学では卒業試験の受験要件となる第 6 学年卒業時 OSCE が実施されました。

従来の第 5 学年のアドバンスト OSCE と異なり、①医療面接を含む 15 分 OSCE が 2 課題、②手技などを評価するミニ OSCE（6 分）4 課題の合計 6 課題と受験課題が増えました。評価者は各診療科より総勢 60 人、外部からの模擬患者さん（SP：Simulated Patient）には 29 人、事務職員が誘導・タイムキーパーとして 17 人参加しました。学生 123 名は、会場となった教育研究棟（自主自学館）3～5 階の各セミナー室、会議室、シミュレーションラボの指定された各ステーションを回り、大きな混乱もなく順次課題をこなしていきました。

将来的には国家試験に OSCE が導入される計画があり、post-clinical clerkship OSCE（PCC OSCE）という名称に変わると言われています。本学では、2016 年度から卒業時 OSCE の合格が卒業要件となります。今後も「卒業時 OSCE 委員会」、および部会の「試験問題選定委員会」を中心に、出題課題の検討のほか、カリキュラム委員会と連携し臨床実習における卒業時の到達度の明確化、また基本的な臨床能力が身に付く実習の推進に向け活動していきます。

卒業時 OSCE に協力いただいた方々の声

医療面接 SP さんより

- ・学生の皆さんが落ち着いていた。言葉遣い、身だしなみが良かった。
- ・評価者の先生から、「今の演技で大丈夫です」とおっしゃっていただき安心した。

評価者教員より

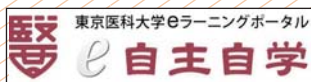
- ・リハーサルがあると良い。初めての評価者も準備できる。
- ・複数の評価者で評価した方が良いのではないかな。

第24回医学教育アドバンスワークショップ



特別講演
「医学部国際認証：一般像と東大医学部での取組み」
東京大学大学院医学系研究科・医学部
医学教育国際研究センター 講師 大西弘高先生

特別講演の動画は
e 自主自学に掲載!



URL: <http://cms.tokyo-med.ac.jp/course/view.php?id=720>

7月4日（土）、5日（日）の2日間にわたり、第24回アドバンスワークショップが開催されました。「医学教育分野別評価（国際認証）受審に向けた自己点検・自己評価の作成」をテーマに、医学教育評価・点検・改善委員会の47名の教員が参加しました。

初日の特別講演では、東京大学より大西弘高先生をお招きし、医学教育の変遷、そして2015年2月に実施された東京大学での国際認証に関する取り組みについて、ご経験に基づく貴重なお話をいただきました。2016年の受審を目標としている本学には大変参考になるお話ばかりでした。また、グループワークでは、「東京医大の強みと弱みを考え、理想的な医学教育を模索する」と題して、各エリア（項目）の教員によって「東京医大」に対する熱い討議がなされました。

2日間をとおして、認証評価での最大の課題である「自己点検評価報告書」のたたき台が見えてきました。先生方の教育に対する情熱がエネルギーとなり、認証の受審という点のみならず、東京医大の教育が飛躍・発展することを確信するワークショップとなりました。



新カリキュラムのご紹介 ー第1学年ー

症候学入門

「症候学入門・バイタルサイン」では、山科教授による講義、阿部教授によるシミュレーション実習でバイタルサインについて学びました。

前期の最終日の授業では、1グループ（7、8人）ごとに課題に取り組むOSCEを実施しました。評価者から指名された学生が1人ずつブースに入り、与えられた課題（医療面接、体温測定、呼吸数・心拍数測定、脈拍測定・血圧測定）に取り組みました。皆緊張しながらも練習の成果を発揮し、医学生としての一步を踏み出しました。



グループ別 OSCE（実技試験）

早期臨床体験実習Ⅰ

6月4日（木）、11日（木）には「早期臨床体験実習Ⅰ」基本的臨床技能実習が行われ、「医療面接、エスコート実習（シミュレーション）、ファーストエイド」について学びました。エスコート実習（シミュレーション）は、後期に病院で実際の患者さんに対して行われるエスコート実習に向けて、高齢者、視覚障害、車椅子、松葉杖などを自分自身が体験し、学生同士でシミュレーションをし、エスコートの練習を行います。後期は9月9日（水）、16日（水）、30日（水）に病院実習「エスコート実習、感染、安全管理（シミュレーション）、外来体験実習」を実施します。



エスコート実習（シミュレーション）